



新富都建発第66号
平成19年4月16日

国土交通省道路局長殿

宮崎県児湯郡新富町大字上富田7491

新富町長 土屋 良 文



中期計画の作成に当たっての意見について

この度の道路特定財源の見直しに関する具体策の閣議決定を受けての貴省の中期計画作成に当り、下記のとおり意見要望致します。

記

1. 道路特定財源の現時点での一般財源化については、道路整備の遅れている地方としては歓迎できません。地方の現状をお汲み取りいただき、是非とも中期計画では地方の道路の早期整備にご配慮をお願いします。

2. 今回の計画作成に当たって、事前に意見を聴かれることは好ましいことではあります。しかしながら、百聞は一見にしかずと申します。地方の現状は、やはり地方へ出向いて目で確かめて頂き、地方道路整備について計画作成に反映していただくようお願い致します。

3. 宮崎県における都市では宮崎市が最も人口が多く、県庁はじめ公共機関や医療機関等が集中し、宮崎空港、宮崎港があるという点で、宮崎市が今後においても県の核となって更に発展すべきであるという見地から、県内各地から当市を結ぶ道路網のいち早い渋滞緩和、スピード化が望まれるところであり、宮崎市近郊の国道の4車線化は急務と思われまます。

このようなことから、東九州自動車道及び本町の中心部を縦断する国道10号の早期整備・完成は本町にとりまして喫緊の目標であり、早期の整備をお願いします。

道路の整備はもとより橋が増え整備が成されることで、まちが発展すると確信しております。地方あつての国、地方の活力が国の繁栄をもたらすとの信念から、重ねて地方の道路整備にご配慮を賜りますようお願い申し上げます。